

7. 国内外のネットワーク推進事業

協会は、様々なプロジェクトの“ネットワーカー”(つなぎ役)となる場面が多い。この背景には①財政的自立度が高く独立した立場で行動できること、②長年の活動を通じ多様な分野にネットワークをもち分野横断的な仲介役を果たせること、③NPOと企業、行政とのパートナーシップ形成のノウハウを蓄積してきたこと、④推進機関の中で相対的に大きな存在でありNPO界をリードする役割が期待されていることなど様々な要因があげられる。

2009年度も様々な結び役となったが、本章では他章で紹介していないものを中心に報告する。

1. 国内でのネットワーク活動

(1) 「全国民間ボランティア・市民活動推進者企画戦略会議」(第26回)の開催

独立系の市民活動推進センターの全国ネットワークとして、民間的自立度の高い市民活動推進機関を、広く参加対象としている。協会は設立当初から実行委員として関わっており、今年は佐賀CSO推進機構が事務局となり、佐賀市で開催された。

開催日：2009年6月6日～7日 場 所：佐賀市市民活動プラザ

内 容：オープニングセッション「鼎談：佐賀から始まった協働化テスト「協働」という言葉を再考する」の後、2日間で7分科会「政策提言とマニフェスト」「協働化テストから見えてきたもの」「市民を巻き込むための理解・信頼を！～中間支援組織の戦略を考える～」「自治組織の未来を探る」「ソーシャルビジネス」「ISO26000」「組織の体質改善指標をつくらう」を実施。民間ボランティア活動推進機関が向き合う課題について関係者が会議を持った。

参加者：69人(協会からは岡本、早瀬、水谷、岡村、金治が参加)

(2) その他の主なネットワーク事業

① 「広がれ！ ボランティアの輪・連絡会議」への参画

全国レベルのボランティア活動推進機関のネットワークであり、協会も連絡会議の幹事団体として参画。毎年、市民活動の推進方策について提言をまとめるとともに、「ボランティア・市民活動シンポジウム」を開催(2009年度は6月25日開催。シンポジストに早瀬が参加)。

連絡会は2009年度から「全国ボランティアフェスティバル」の共催団体となり、9月26～27日に愛媛県で開かれたフェスティバルには早瀬が実行委員に加わり、当日の運営にも協力した。またドイツ・ボンで開かれた「ボランティア国際年+10」の諮問会議への連絡会からの代表委員として早瀬が参加した。(次節で解説)

② NPOの活動推進に関わる各種ネットワークへの参画 (3章で報告)

③ 社会的責任向上に関するNPOネットワークへの参画 (5章で報告) など

(3) 役員などの派遣 (理事長、事務局員などが役員などに就任している主な団体。2009年度末現在)

- ①. (福)大阪府社会福祉協議会・理事(牧里理事長)
- ②. (福)大阪市社会福祉協議会・評議員(牧里理事長)
- ③. (財)ユニバーサル財団・理事(岡本顧問)
- ④. (財)大阪ガスグループ福祉財団・評議員(岡本顧問)
- ⑤. (財)日本生命済生会・評議員(岡本顧問)
- ⑥. 大阪ボランティア推進府民会議運営委員・委員(早瀬事務局長)
- ⑦. (財)大阪府地域福祉推進財団・評議員(早瀬事務局長)
- ⑧. (社)日本フィランソロピー協会・評議員(早瀬事務局長)
- ⑨. (財)大阪府男女共同参画推進財団・理事(早瀬事務局長)
- ⑩. (福)大阪府社会福祉協議会・評議員(早瀬事務局長)

- ⑪. (財)大阪府地域支援人権金融公社・評議員(早瀬事務局長)
- ⑫. 大阪府ボランティア・市民活動センター・運営委員(早瀬事務局長)
- ⑬. 大阪市ボランティア情報センター・運営委員(早瀬事務局長) など

2. 海外とのネットワーク推進

(1) 姉妹提携団体「韓国自願奉仕聯合會」との連携

2000年1月に姉妹提携した「韓国自願奉仕聯合會」(本部・釜山)との事業連携を図るため、2009年度は日本から韓国へ出向き、以下の姉妹血縁記念事業を行った。

・「姉妹結縁10周年記念シンポジウム」(韓国・釜山)の開催

2009年度は姉妹血縁から10年目を迎えた。この記念行事として韓国・釜山を牧里毎治理事長、岡本榮一顧問、水谷綾事務局次長が訪問。韓国自願奉仕聯合會から「韓国型のボランティア活動について」の報告を聞くとともに、当協会からは牧里理事長が「日本のボランティアの近況と課題」について報告。また、交流事業として、現地の地域福祉センターおよび児童養護施設を訪問した。

- 開催日：2010年1月29日(金)
- 会場：韓国釜山市庁舎ホール
- 参加者：60人
- 講演：李 大根(韓国自願奉仕聯合會)
ソングスンホ(影島区自願奉仕センター・事務局長)
牧里毎治(大阪ボランティア協会・理事長)
岡本榮一(大阪ボランティア協会・顧問)



牧里理事長(左上)の講演を聞く参加者



両団体関係者で記念写真

(2) 国連ボランティア計画「ボランティア国際年10周年」諮問会議への参加

2001年は日本政府が提案し国連が定めた「ボランティア国際年」であったが、それから10周年となる2011年を「ボランティア国際年+10」として、国際的にボランティア活動の推進を図ることとなった。この内容を検討するため、「国連ボランティア計画」の本部で、諮問会議を開催することになり、「広がり！ ボランティアの輪」連絡会議へ、日本から同会議への代表派遣が要請された。

これを受け、連絡会議幹事で、「2001年ボランティア国際年推進協議会」運営委員長を務めた早瀬が、同会議に出席することになった。

- 開催日：2009年10月22日(金)～23日(土)
- 会場：国連ボランティア計画本部(ドイツ・ボン)
- 参加者：50人

協議内容：①01年の評価などにふれた基調発題、②「+10」に向けた各国の計画の傾向の分析と分かち合い、③ECなどから「+10」に向けた計画の紹介、④各国の状況を踏まえた国内委員会立ち上げに向けたワークショップ(自らの強み・弱み、環境上の好機と脅威の分析)、⑤ボランティア活動と排除しない社会づくり推進に向けた協議、⑥働きかけについての意見交換 など



諮問会議に集まった各国・機関代表者



会議はワークショップ形式で進められた